

第46回

緑と花の百科展

10月9日(日) 8:00~15:00

中央公園(雨天決行)

- ◇緑の相談コーナー
- ◇庭木のせん定実技講習会
- ◇花木チャリティーオークション
- ◇市民盆栽展
- ◇間伐材木工品の展示・即売
- ◇花木・草花の大安売り
- ◇バラの苗木無料配布 500本
9:00~、12:30~ (先着順)

◎緑と花のコンクール表彰式

「花壇コンクール」と「緑化作文コンクール」の優秀者を表彰します。

とき 10月9日(日) 10:00~11:00

ところ 中央公園

※緑と花の百科展会場で行います

◎親子自然観察会

とき 10月8日(土) 9:00~12:00

ところ 中央公園とその周辺

対象 小学生以上とその親

定員 50人(先着順)

内容 秋の草花と虫たち、観察ゲーム、
土壌生物の観察

申し込み 電話でみどりの課へ



シャコバサボテン

ブラジルのオルガン山系が生まれ故郷で、ほかのサボテン類が砂漠気候地帯に生育するのに対し、熱帯雨林気候地帯の樹林に着生しているという、変わった性質を持っています。

今回は花つきをよくするこれからの手入れの方法を紹介します。



秋の管理

これからの時期のシャコバサボテンは花になるもとの芽をつくります。

1日に12時間以下の明るさと、20度くらいの気温で自然に芽をつくります。午後6時から翌朝の8時までは段ボールなどで覆っておくとよいでしょう。

置き場

花芽ができる10月上旬までは屋外の明るい日陰に置きます。花芽ができ上がれば日照時間に左右されないため、室内のできるだけ暖かくて日当たりのよい場所に移します。

水やり

水は控えめにして成長をとめて花芽をつきやすくします。花芽ができるまでは7~10日に1回程度、土の表面が白く乾いてから与えます。

※肥料は花芽をつけるため生育を休止するので与えてはいけません

行事に関する問い合わせ・申し込み

みどりと環境美化を推進する

富士市民の会

事務局みどりの課 内線2666・2667